



ブラックパネル

スピードメーター & 電気式タコメーター 取扱説明書

(正立 27フロントフォーク用)

商品番号 : 09 - 01 - 1221
適応車種 : モンキー / ゴリラ (12V)
フレーム番号 : Z50J - 2000001 ~
 : AB27 - 1000001 ~

この度はTAKEGAWAの製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。ご使用になられる前に必ずこの説明書をお読み頂き、内容を把握下さいませお願い致します。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

正しく安全にご使用頂くために

取り付け前に商品の内容をご確認下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い求め頂いた販売店にご相談下さい。

このキットは、当社 27正立フロントフォークキット、又は、ノーマルフロントフォーク用バーハンドルタイプトップブリッジ、ヘッドライトステー (09 - 03 - 007) 及び、汎用ヘッドライトキット (09 - 03 - 072) (09 - 03 - 0770) 取り付け車専用用品です。ノーマルヘッドライトでは取り付け出来ませんので、ご注意ください。

このキットは、12V車専用です。6V車でのご使用は出来ません。又、スパークプラグは必ず抵抗入りプラグを使用し、ハイパーC D Iを除く、他の点火系部品との併用はなさないで下さい。タコメーターが正常に作動しなくなります。

点火系部品は必ずノーマルをご使用下さい。ハイテンションコード、プラグキャップ、イグニッションコイル、点火コイルを変更するとタコメーターが正常に作動しない場合があります。

ロングタイプのハンドルホルダー及びノーマルフォーク用トップブリッジご使用の場合は、ソケットキャップスクリューの変更が必要になりますので別途お買い求め下さい。

- ・ 10mmアップタイプ ————— ソケットキャップスクリュー 6×70ネジ長25mm以上 2本
- ・ 20mmアップタイプ ————— ソケットキャップスクリュー 6×80ネジ長25mm以上 2本
- ・ ノーマルフォーク用トップブリッジ — ソケットキャップスクリュー 6×70ネジ長25mm以上 2本

⚠ 注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・ 取り付け作業は、必ずエンジン冷間時 (35℃以下) に行ってください。エンジンやマフラーが冷えていない状態で作業を行った場合火傷の原因となります。
- ・ 作業を行う際は、その作業に適した工具を用いて行って下さい。
- ・ 各ボルト、ナット類は必ずトルクレンチを使用し指定トルクで締め付けて下さい。
- ・ 本品には、運転者に注意をうながす速度警告灯がついておりませんので速度超過には十分注意をし安全運転を行ってください。
- ・ 走行前には、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み等がないかを確認して下さい。又、走行中異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常個所の点検を行ってください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

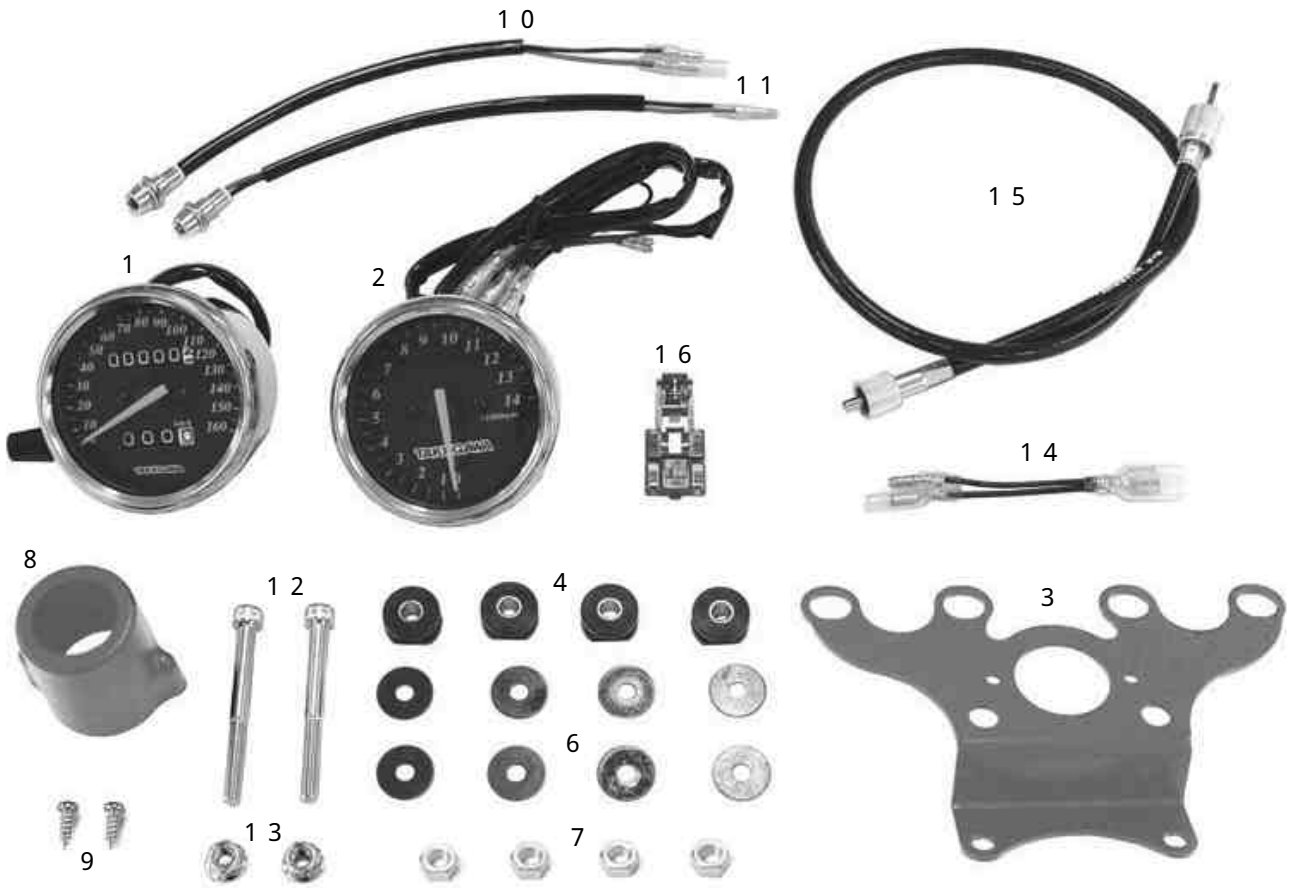
この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

～ 特 徴 ～

ニューデザインのブラックメーターパネルを使用したメーターキットです。スピードメーターはオドメーター、トリップメーター付きで160km/h表示、タコメーターは、精度の高い電気式で14000rpm表示です。スピードメーター、タコメーターともに透過式メーターパネルを採用し、照明灯を2つにし夜間の見やすさを向上させました。メーター本体は、ステンレスを使用し耐久性の向上を計ると共にラバースタンプにより振動を低減させています。また、メーターステーにはLEDニュートラル、ターン用インジケータランプとメインスイッチを保護するスイッチカバーを取り付け出来るよう設定しています。

~ 商 品 内 容 ~



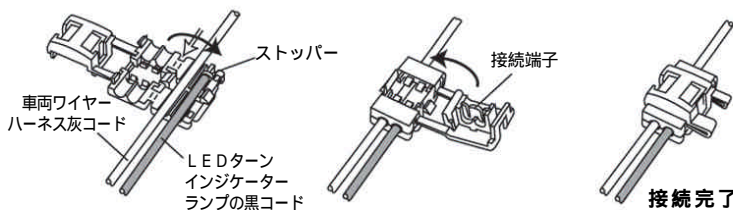
番号	商品内容	数量	番号	商品内容	数量
1	スピードメーターASSY.	1	9	タッピングスクリュー 4×12	2
2	電気式タコメーターASSY.	1	10	LEDニュートラルインジケータランプ	1
3	メータステー	1	11	LEDターンインジケータランプ	1
4	クッションラバー	4	12	ソケットキャップスクリュー 6×60	2
5	カラー 8.5mm	4	13	フランジロックナット 6mm	2
6	プレーンワッシャ 5×18	8	14	サブコード(黒)	1
7	六角ナット 5mm	4	15	スピードメーターケーブルASSY. 670mm	1
8	コンビネーションスイッチカバー	1	16	エレクトロタップ	1

部品番号5番は、4番クッションラバーに付いています。

～取 り 付 け 要 領～

1. メータースターにクッションラバー 4 個を取り付け、カラー 8 .5 mm をクッションラバーにそれぞれ差し込みます。
2. 電気式タコメーターネジ部にブレンワッシャ 5 × 1 8 を入れメータースター右側にタコメーターを取り付けます。クッションラバー裏側よりブレンワッシャ 5 × 1 8 と 6 角ナットを取り付け指定トルクで締め付けます。
トルク：5 N・m (0 .5 k g f ・m)
3. スピードメーターネジ部にブレンワッシャ 5 × 1 8 を入れメータースターにスピードメーターを取り付けます。クッションラバー裏側よりタコメーター同様にブレンワッシャと 6 角ナットを取り付け指定トルクで締め付けます。
トルク：5 N・m (0 .5 k g f ・m)
4. メータースターに LED ニュートラルインジケータランプとターンインジケータランプを取り付け、スター裏側よりスプリングワッシャを入れてナットを締め付けます。
5. コンビネーションスイッチカバーの切り欠き部が右斜め下になる様タッピングスクリューで取り付けます。ノーマルライトケースよりコンビネーションスイッチを取り外しロックの爪が掛かるまでスイッチをスイッチカバーに差し込みます。
(ライトケースよりコンビネーションスイッチを取り外す場合、細目のドライバー等で 2 箇所ロックの爪を内側に押しながらスイッチを抜き取って下さい。)
6. ハンドルホルダー前側 2 本のソケットキャップスクリューを外し付属のソケットキャップスクリューに交換し指定トルクで締め付けます。
トルク：1 2 N・m (1 .2 k g f ・m)
トップブリッジ裏面の交換したキャップスクリュー部分にメータースターを入れフランジナットを取り付け指定トルクで締め付けます。
トルク：1 2 N・m (1 .2 k g f ・m)
(メーターとヘッドライトが干渉したり、クリアランスが少ない場合は、ヘッドライトスターで高さ調整を行って下さい。)
7. ヘッドライトケース内のワイヤーハーネス茶コード、緑コード、黒コードにタコメーターコードの同色のコードのギボシをそれぞれ接続します。タコメーターコードの黒/黄コードをイグニッションコイル部分まで取り回しコイルに接続します。スピードメーターの赤コードをタコメーターの茶コードに接続し、黒コードを緑コードに接続します。
8. LED ニュートラルインジケータランプの黒コードをワイヤーハーネス若葉/赤コードに接続し、赤コードをタコメーター黒コードに接続します。
9. LED ターンインジケータランプの赤コードをサブコード黒に接続し、黒コードをエレクトロタップを使用して、ワイヤーハーネス灰コードに接続します。
エレクトロタップの接続方法は図を参照して下さい。
10. スピードメーターケーブルを接続します。エンジンを始動し各ランプの点灯状態とタコメーターの作動を確認し問題がなければ安全な場所で低速走行を行いスピードメーターの作動を確認して下さい。

エレクトロタップの接続方法

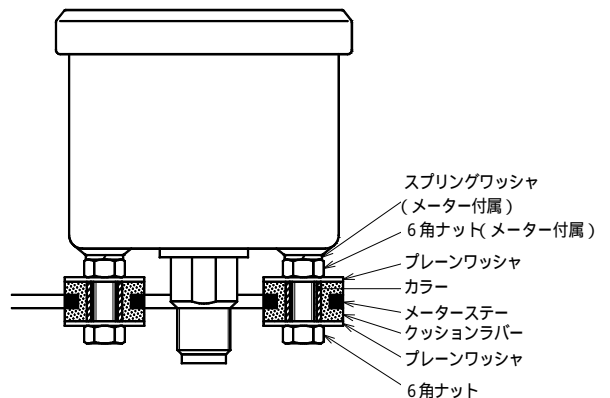


接続しようとするコードをそれぞれエレクトロタップの溝に合わせ、位置決めをし(LED 側の配線をしっかりストッパーに当てて下さい。)

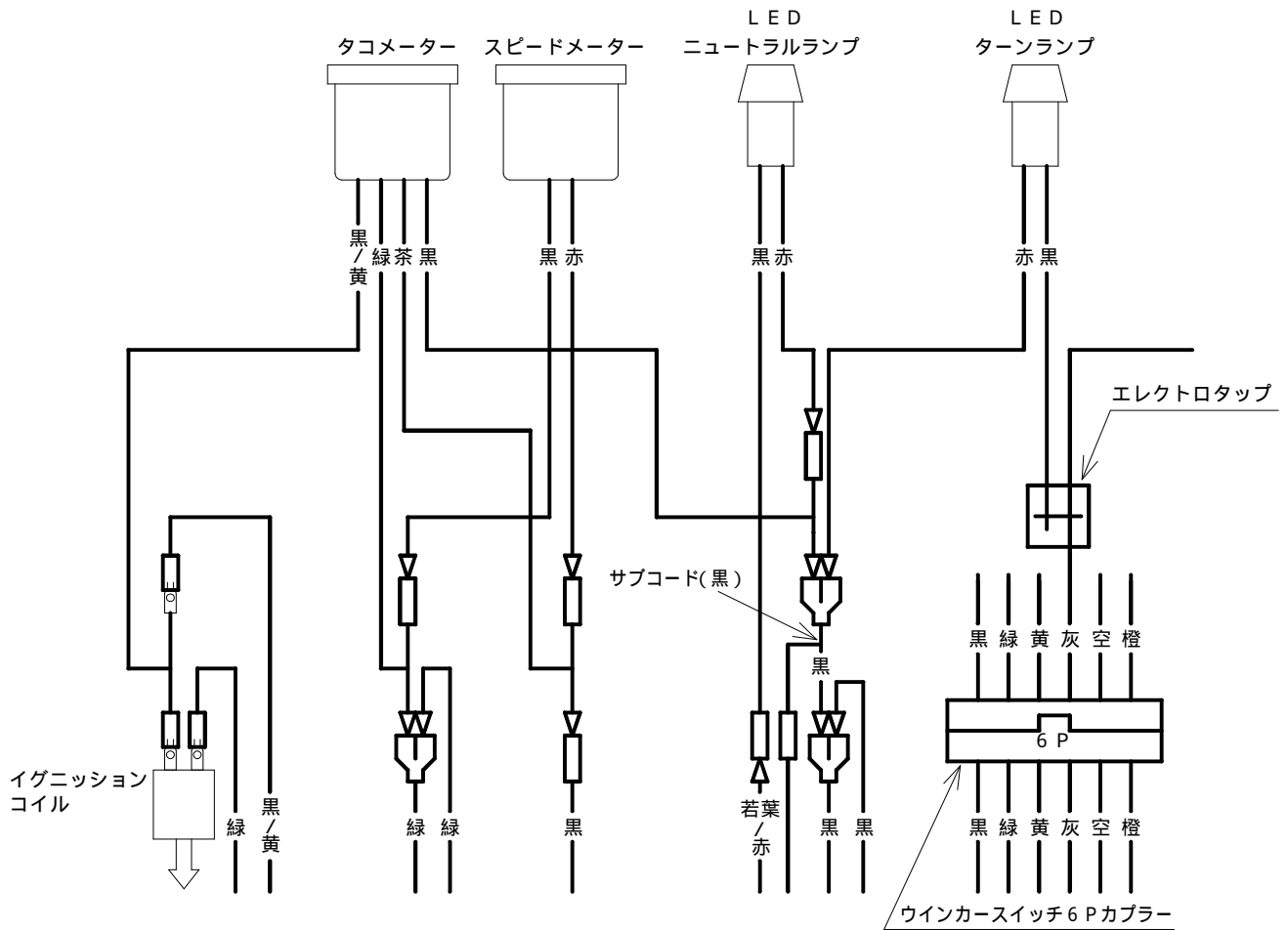
部分から折り返して下さい。これでコードが仮止めされます。

次に接続端子がついている方を折り返して下さい。プライヤーなどで完全にロックするまでしっかりと押さえて下さい。

メーター組み立て図



~ 配 線 図 ~



株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>

使用前に必ず行って下さい



注意

バッテリーを必ず装着して使用する事。(タコメーターが破損します。)
 ACレギュレーターが正常か確認の上、使用する事。
 (タコメーターが破損する恐れがあります。) *サービスマニュアルの点検方法を参照にする事。
 プラグコード及びプラグキャップは、STD品を必ず使用する事。(タコメーターの表示の異常及び破損の恐れがあります。)
 スパークプラグは、必ずレジスタータイプを使用する事。(タコメーターの表示の異常がおこります。) *例参照

ACレギュレーター点検

暖機運転をしてエンジンを停止します。

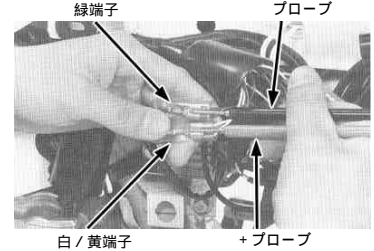
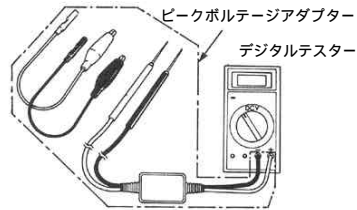
ACレギュレーターコネクタにAC電圧計をセットし、(白/黄に+、緑に-)エンジンを始動させます。

△注意：ショートさせない様にする事。

制御電圧：13～15V / 5000rpm

電圧が規定値に制御されていない場合は、コネクタの緩みを点検し、再度測定しても制御されない場合は、ACレギュレーターを交換する。

例	
NGK 熱価 CR8HSA ↑ レジスタータイプ	デンソー 熱価 U24FSR U ↑ レジスタータイプ



タコメーターの異常診断

回転計の針が振れる。

回転を上げると振れる

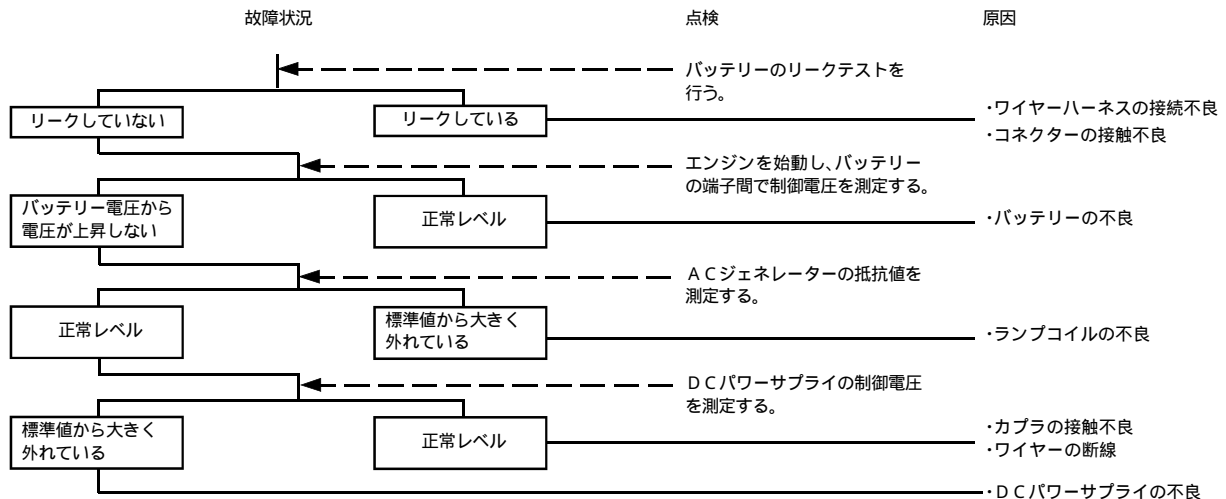
- * スパークプラグをレジスタータイプ(抵抗入り)を使用していない場合。(スパークプラグをレジスタータイプに交換する。)
- * スパークプラグの熱価が合っていない為、スパークプラグが燻っている場合。又は、燃料調整が合っていない為、スパークプラグが燻っている場合。(調整をし、きれいに掃除したスパークプラグ又は、新品のスパークプラグに交換する。)
- * 指定の物以外の、プラグコード及びプラグキャップを使用している場合。(STDのプラグコード及びプラグキャップに交換する。)
- * 電圧が不足している場合。(バッテリーを充電又は、新品のバッテリーに交換する。バッテリーが正常で電圧が不足している場合は、車両の故障診断を行う。)

エンジンを始動しても回転計が作動しない

- * バッテリーを取り外している場合。(バッテリーを取り付ける。)
- * 電圧が不足している場合。(バッテリーを充電又は、新品のバッテリーに交換する。バッテリーが正常で電圧が不足している場合は、車両の故障診断を行う。)
- * STD品とは異なるジェネレーターを使用している場合。(STD品のジェネレーター部品に交換する。)

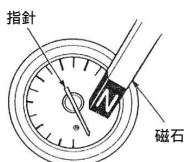
指針の位置が変わった

- * 変わった位置から針が動く場合。(磁石で指針の修正を行う。)



指針の修正

指針が転倒等によって振り切れてしまった場合、以下の手順で修正する。下図の様に磁石を指針に近づける。



磁石を下図の様にゆっくりと移動させ、指針を“0”点まで戻す。

